

課題 p01-1.c

C 言語は、表示部分以外は全て半角小文字で入力する必要があることと、命令関数の文字列を邪魔していなければ、どこに改行や空白を置いてもいいことが分かりました。

課題 p01-2.c

うっかり全角のまま ; 、 () 、 ” などの記号を打ってしまうことがエラーに繋がることが分かりました。また、”” で括った部分には、何でも入力していいことが分かりました。

課題 p01-3.c

printf 関数の中で、%d の後に、 , 数、数式を入れることで、直接数値を入力、表示できることが分かりました。

課題 p01-4.c

変数を使用する際には、int 型には整数、float 型には小数、string 型には文字列など、データ型に合ったデータを入力しないと、正しい出力を得られないことが分かりました。

課題 p01-5.c

float 型に整数を入れると、出力が 0 となってしまうことから、数値を扱うデータ型の仲間でも、データによって使い分ける必要があることが分かりました。

課題 p01-6.c

// や、/**/ を使って、コメントを残したり、プログラムの必要なくなった部分を削除することなく、その部分を飛ばしたりすることができると分かりました。

問題作成課題

・プログラムソースコード画像

```
/* p1-7.c */  
  
#include<stdio.h>  
  
int main(void){  
    printf("私の名前は %s です。¥n","樋口陽輝");  
    printf("私の特技は %s です。¥n","資格取得");  
    printf("%sについては誰にも負けません。¥n","高校時代に訪れた県の数");  
    return 0;  
}
```

・実行結果画像

```
N:\prog1>gcc p1-7.c  
  
N:\prog1>a.exe  
私の名前は 樋口陽輝 です。  
私の特技は 資格取得 です。  
高校時代に訪れた県の数については誰にも負けません。  
  
N:\prog1>|
```

本日の感想や反省

工業高校でC言語は触っていましたが、2年も前のことなので、忘れていることが多くあることが実感できました。そのため、ポインタなどで苦戦しないよう、問題集を解きなおしてみようと思いました。